



定額一圓金... 発行所 常磐毎日新聞社

秋の花壇 (二)

根分の時季と仕方

一年で枯れるものは、根を抜き取つて捨てるのです

鉢植は尙更で、來年出る芽が秋になると幾つにも植えてゐて、それが一かためになつてゐると、根に押されて新らしい芽が窮屈になつてゐるから、どうして

ノート

不足する と壊血病を起す イタミントは特にキヤベツレモントマト大根緑茶等に多く含有する

に振り起して剪刀で一芽づつ株を切り放します。育ちのおそいものは、あまり多く分けしないで前年の経験に依つて適宜の大きさに分ける方がよいのです。

にかけての季節が一番根分に良いかと云ふと、植物が一年育つて動くだけ動き即ち芽を出し、花を咲かせて實を結び、それから更に體がしつかりして來て、八月半ば頃には落ちついてすべてが充實してゐます。それから以後は略ぼ動かない

【朝】味噌汁—ねぎ 小付—富貴豆

【晝】ひじき 大豆煮 付

【晚】とろろ—山芋 煮出し 麥飯

で根も休止する時期になるのですから、その時に芽を分けてやれば弱りません。かうして二週間も経てば落ちついて來ます。さもないければ來年の二月、植物が動き始める前がよろしい。

平南 青韻

朝夕身に沁む秋風に 山々の木の葉色づき初め 一葉一葉風無きに淋しく

散る夕べ

垣根に腰を下し 思ひに沈む淡き影二つ

×

稲田の影にあらほら見え 隠れる

×

村人の姿も つと稲原より消え去りて 暮れゆく秋の夕べに 宿に残る柿の影三つ

×

寂として稲田は暮れぬ 黄金の波の音にも驚きて 飛び立ちし群雀 ひらがる中を啼へと 急ぐ鳥の影四つ見ゆ

×

日は西山に落ち 夕焼は中天を焼く 星は杉の大木の上にも すすく淡く光る

×

村人の姿も見えず うすれゆく垣根の影も 夕焼もいつか消えけん 夜のとばり静かに落ちて 初秋の夕も終りに近し

木村外科醫院

平町六丁目橋際 電話三〇九番

石炭

一俵廿二錢ヨリ

多少に拘らず御用命下さい、直ちに配達致します。

エビスヤ燃料店

東洋火災保險株式會社中央代理店

銀座へお進みの節は是非會館へ

獨特を奉仕献立

- 紅茶 一〇 一品料理 二〇 ランチ 五〇

御宴會・御集會・御相談次第

會館

秋と冬の 中折ボーシ

優良國産品

- 特選 ウール帽 ¥2.00 フワール帽 ¥5.50 セラフイック帽 ¥6.00

スマートな型と色..... 御年配若人向..... 好適品豊富に取揃へ

ツルヤ

電一四〇

科外内臓外科

レントゲン線

醫學博士 諸橋鐵彌 新川町二七 (電四六四)

豫て御高評を蒙り居り候江の島料理本店自慢の水たき相始候間一層の御評判被下度候

住吉屋本店

電話一五九番

機關銃印の自轉車

- 一、全部鋼鐵、特種壓搾製 二、自働注油、防水防塵、裝置 三、ヘッド及びホークのスプリング作動

斯界に比なき數多の特長を有するが故に耐久力は普通車の五倍以上。而かも悪路でも振動を感ぜず。その輕快さは本車のみ有する特長で製作者の苦心の存する所であります。

フタバ商會

平・新川町・月見橋際

米國製劑皮膚病良藥

レメドール

宮温湯

たんぼあめ

靈藥ムテキ

阿康藥舖

平町古銀治町一〇 縣社ノ下 電話四四番

本郡最初の

明朗たる野球戦

熱球の響きと健棒のさそい

フアンの期待正に最高調

本社主催「中等學校教員野球リーグ戦」はいよいよ後九日を餘すのみ、フアンの期待は時日の切迫とともに次第にその熱度を増し大會前人氣は今や正に最高調に達した觀がある櫻ヶ丘グラウンドに展開される熱球の響き健棒の牙え我等の教員の明朗たる野球選手振りはこの大會にしく始めて遺憾なく示されるのだけに同リーグ戦の噂は此處彼處に華と咲いてゐる待たるは十一月三日の日である

バットを撫して

雨空を覗む

技倆は全く伯中

▽……一選手昂然と語る

大會を旬日の後に控へた參加各校では優勝の野望を胸に秘めて連日猛練習を行ひ技倆一段と牙えに牙えて言外に洩す意氣物凄じものがあつて張り切つてゐる各校の選手連、昨今の雨に練習不足を餘儀なくされた恨みからかボールを握り、バットを撫しては降り止まぬ雨空を仰ぎ脾肉の嘆を洩してゐる、某校の選手の一人は昂然と語る

三チームの力量伯仲と傳へられてゐるが實際自分等としても何校が優勢するか全然豫測がつかない

店に調製方依頼した

國旗型 紫紺の鹽瀨地

の中央にボールを抱いた月桂樹をあしらひその中に「優勝」の二字を染め抜いた堂々優雅典麗なるもので本社熱意を汲んで吉田染物店は東京に勝るとも斷じてひげはとらぬと牢固たる

確信を示して工を急

いて居るが果してこの處女優勝旗を最初に獲得する譽れのチームは平商か？ 警中か？ 將又ダークホース警女ナインか？ 果して何れぞ！ 興味は此處にたながれて渾々と盡さない

我等の先生を

勝たしめよ

學生連既に熱狂

應援方法の對策に腐心

三校教員リーグ戦は殊にその學生間に人氣を呼んで居る大會當日はホームグラウンドである警女は勿論、警中、平商の學生も「我等の先生を勝たしめよ」と大舉應援隊を繰り出す模様である

高麗橋を喜んで

主婦連發起の餘興

平町の新名物「モダン高麗橋」は竣功成り來る二十八日午前十時から現場で盛大な竣功式を舉行されるので舊城跡居住の主婦連はこの竣功を喜ぶの餘り竣功式當日餘興を催す費用にと左記夫人發起となり寄附を募つた結果四十七圓五錢を得たので一先づ役場に寄託した

入營兵の

付添分擔

明一月入營する郡下壯丁のため入營現隊まで付添見

運動部舉て起つ

平商の体育週間行事

平商業學校は昨廿四日職員會を開いて本年度体育週間行事に就いて協議せる結果來月一日は全校生徒の野球、庭球、劍道、弓道の競技會を開き更に六日は陸上競技七日には銃劍術、競技を夫々開く事になつた

體育議案

正木校長提出

正木警女校長は明廿六日午後より白河高等女學校に開催される縣下女子中等學校長會議に出席する爲め明日午前七時二十八分平驛發列車で出發するが同校長は女子中等學校體育大會に就いて

貴方の御家庭に

お手不足は御座いませんか

本會を御利用下さい

直に家政婦を派出します

親切 料金は極めて低廉で
妊産婦の御家庭 留守 居番
御病人の付添 年寄やお子さんの付添
炊事や 雜用

派出多忙に付會員至急募集

平町紺屋町二(電話二二番)

上原家政婦會

會主 産婆 上原通子

送る町村長の分擔左の如く決定した
仙臺永戸村長八若松田人
村長△東京勿來町長△千葉邊村長△横濱農間村長△滿洲植田町長

江名助役に

作山一校氏

赤井第一小學校長作山一校氏は今回出身地江名町の町會に於いて職員中の助役に推薦された

籠球大會順序

既報來る卅一日に延期された第三區(平町外十五校)兒童籠球大會は卅一日午後一時半より平第一小學校庭に於いて篠山會長の開會の辭下山田審判長の注意があり直に男子は第一校コート、女子は第二校コートで夫々競技開始の順

中等 教員野球大會

一、日時 十一月三日(明治節)午前十時半
一、場所 縣立磐城高等女學校々庭
一、參加 磐中 磐女 平商 各校教職員
一、方法 優勝旗爭霸軟式リーグ戦
主催 常磐毎日新聞社
後援 磐陽野球聯盟
同 平町軟式野球協會

郡北一帯に 攻防の陣を敷く

郡下青訓の聯合演習

既報郡下青訓聯合演習に就いては各關係者が昨日平第一校に參集協議したが更に明廿六日想定を協議する筈にて演習期日は大体來月十八日と決定郡下青訓生千五百名が南北兩軍に分かれ北軍は四倉、大浦兩小學校

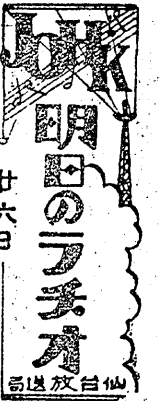
轢死男の 身許判る

搜索中の家出人

〔昨報〕二十三日午後六時山谷村鎌田地内常磐線で轢死されたルンペン風体の身許については平署で各方面に照會手配中、今二十五日平署に提出された搜索願に依り右は須賀川町字西三丁目

生活口を 訴へた遺書

飛込み自殺を遂げた徳治が死の直前妻ふじに宛てた遺書は左の如く生活苦に痛めつけられる細民の哀切たる苦慘が全文に浸み溢れてゐる



報豫氣天 今晚も明日も北西の風曇り次第に良くなる

今晩の部

後六、〇〇 子供の時間 漫書劇「吾輩は犬である」(第七回) 漫書劇場
後六、二五 英語講座(二の七) 岡田 哲藏
後七、三〇 講演「農村の

服部教諭 高等官七等

昨日付發令

平商業學校教諭服部甲氏は高等官七等を以て待遇せらるゝ旨昨二十三日付で發令された

銀紙五貫匁 第二校に集る

飛行機建造費寄附の銀紙愛國運動は既記の如く平町各小學校に於いて既に夫々着手されたが第二小學校に於いて去る廿二日より生徒等の學校に持ち來つた煙草やチヨロレットの廢物銀紙は五貫目に達して居る

死の花嫁

主婦の友から

嫁ぎ近く晴れの日も待たで哀れ散りゆきし「死の花嫁」と涙の裡に三々九度の盃を汲み交した若き醫學博士松本傳兵衛氏の純愛は各方面に異常な衝動を興へ同情と感嘆の聲に包まれてゐるが

食堂部の腕自慢

觀覽者に實費でサービス

大忙しいバザー準備

既報來る廿八、九の兩日バザーを開く警女では出品物及び會場の設備に就いて全員の職員生徒を擧げて大童への準備中であるが中にも會場に食堂を開いて觀覽者にサービスする同校制寮部の職員生徒は今回左の如き食堂メニューを作り來會者に實費で腕の牙えを見せると(單位錢)

- 壽司箱入 一五
- 汁粉 八
- 雜煮 五
- トウナツ袋入 一〇
- ドライケーキ袋入 一〇
- 栗洋かん袋入 一〇
- 牛乳ココア入 一〇
- サンドウヰッチ 一〇
- イチゴ水 五

裁判所たより

△双葉郡上岡村字本岡醬油

明日の部

前六、三〇 基礎佛語講座(一三) 岡倉由三郎
前七、〇〇 聖典講義「阿含經」(一〇) 友松 圓諦
前八、〇〇 家庭科學講義「營養」(三) 病弱人の營養 慶大營養研究所 長醫學博士 大森 憲太
後〇、〇〇 管絃樂 寶塚オーケストラ
後二、〇〇 家庭講座「新家庭の經濟」大江壽美子
後六、〇〇 (子供の時間) 齊唱と合唱 JOKR唱隊

後六、二五 基礎英語講座(二八) 岡倉由三郎
後七、三〇 講演「入浴と健康」醫學博士西川美方
後八、〇〇 校歌と應援歌 齊唱(早稲田及慶應) 早稲田大學學生有志 慶應義塾コーラス部
後八、二〇 小唄 永井ひう
後八、三五 東海道演藝道中(第十夜) 解説 徳川 夢聲
後九、五五 日本棋院秋季東西大手合戦績

平職案紹介所報告

- △人を求める方
△印刷職工 廿五以下 尋卒 給料面談
- △出前持 廿前後 尋卒 月七圓位
- △料理人 四十以下 尋卒 給料面談
- △雜役 二十五才 尋卒 給料面談
- △回 職を求める方
△採炭夫 卅八才 尋四修 給料面談
- △電工見習 十八才 中三 修 給料面談
- △雜役婦 卅九才 委細面談
- △土工夫 四十五才 高卒 給料面談
- △小店員 二十才 尋卒 給料面談

市原醫院

平町 田町 電話二一四番

津名の比調野 進斬首頭

(關東上院及上野)

田邊南龍(作)
山本英春(繪)

一六七:

覺悟の上の暇乞

『今でも親の様に思つて居る、然るに旗本水野十郎左衛門始め近藤、兼松、池田などが只管其方を怨むと云ふのは全く乾分が悪いのだ然し上へ立つものは是非に及ばぬ長兵衛潔く死ぬ』

『へい』

『然し進善供養は庄右衛門が致し遣はす、人の爲に捨てる命、必ず笑ふものはない、今治まる世にさういふ事から再び天下の亂れでも惹き起せば却つて爲にも相成るまいから一人死して事が済むなら明日は水野の屋敷へ参り、立派に命を捨てるが宜い』

『有難う存じます、何うかと思ひましたが流石櫻井の御前様其御一言を伺ひましたので手前も安心致しました、つきましては旦那様、此の彦四郎貞宗は塚本の家には傳はる大切な品、もう水野の屋敷で死ぬる事が決まらなければ要用もございませぬ、置土産といふのも如何でございませぬが御前様の御手許へ差し上げたう存じます、御受取り下さいませぬか』

『併し長兵衛、水野の屋敷へ参つて是非其方の事であ

るから大勢を相手に勝負致すであらう、名刀がなければ其時困るであらう……』

『イヤさう申すならば此貞宗は如何にも櫻井庄右衛門受納致すであらう、只今酒宴の用意を致すから、盃を舉げて今宵は終夜物語りを致せ』

『エ、私もさう存じまして出ましてもございませぬ、家へ歸りますと野郎共が兎角申しますからでは御ゆつくりお物語り仕りませう』

と其後は酒肴の用意をい



たしませんつもり、尋常に水野十郎左衛門の手に掛つて相果てませぬ、先に疵を付けまいと思ひますれば丸腰で参つても宜い位、却つて水野の家へでも取上げられますと、死んでの後が思ひ切りが悪うございませぬから旦那様のお手許へ貞宗を納めて置けば心残りございませぬ、とう

たしまして、暫らく間長兵衛を相手に櫻井庄右衛門お物語りでございます、尤も大名屋敷でございますから濫りに人を泊めると云ふ事は出来なない筈、けれども長兵衛は殿様のお聲掛りであるし、年來門出入をいたして居りますから誰も答へる人はございませぬ、とう

夜の明けるまで櫻井庄右衛門方に居りました、長兵衛は其の朝に限つて朝食を致しませぬ、人間死んで了ひましても斬り口から消化しない飯などの出るのは耻でございますから、朝から長兵衛は覺悟をいたしたいよ、出るといふ時になりまると櫻井庄右衛門

『サテ長兵衛、此刀は拙者の寸志役にも立つまいがどうぞ此品を帶して行つて呉れ』

お取り出しになりましたのが庄右衛門殿の水田の國重でございます

『有難う存じます、御辭退申しますと却つて旦那様へ恐れ入りますから、左様なら頂戴して参ります』

『盃を遣はす』

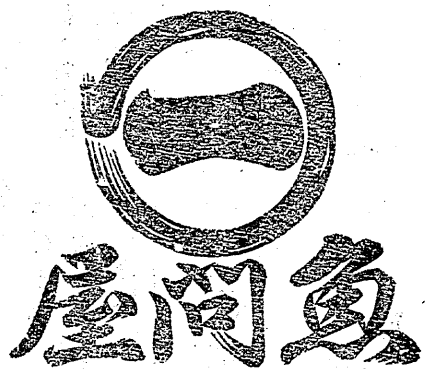
『有難う存じます』

長兵衛が取り上げて見ると水盃満々と受けた冷水を心持よく一杯飲んで

『ア、好い心持になりました』

かつを

塩から



店理代平命生本日大最優最
榮盛賀志
(三一二電)目丁四平

● 店員募集

年齢十五、六才、希望は至急来店あれ

玉屋洋品店

平町田町通電話六五六番

時計 計高

蓄音器 橋

レコード 時

眼鏡類 計

懷中電燈 店

平町播磨小路

磐城共濟病院 (福島縣平町) (電話六四一番)

小兒科	院長 山謙一郎
婦人科	院長 賀一忠
産科	院長 五十嵐雄二
外科	院長 坂本眞一郎
耳鼻咽喉科	部長 澤正
皮膚泌尿器科	部長 山謙一郎
花柳病科	部長 山謙一郎
X光線科	部長 山謙一郎
衛生試驗所	部長 山謙一郎
藥局	局長 山謙一郎
事務局長	山謙一郎

● 毎日午前八時ヨリ午後十時迄診療
● 夜間診療開始(毎夜午後十時マデ)
● 病室完備 入院隨意

外科 X 光線科

性病科

外科

安齊外科醫院

平町田町

電話四七五番

意隨院入